

日本国際地図学会平成 20 年度定期大会プログラム

第1日 8月7日(木) 15:00～17:00

国土地理院施設見学 (事前申し込みが必要。下記の申し込み方法を参照)

第2日 8月8日(金) 10:00～16:30

開始	発表番号・題目・発表者	ページ
	研究発表(1)	
10:00	O01 地理学習における地図帳の役割とはー中学校社会科地理的分野における学習を中心にー 中村 剛(日本大学第三中学・高等学校・非)	38
10:20	O02 立正大学田中啓爾文庫および三野与吉文庫所蔵未整理地図について 亀井啓一郎(立正大・非)・島津 弘・大塚昌利(立正大)	40
10:40	O03 ガウス-クリューゲル図法の歴史についてークリューゲル1912年論文及び1919年論文からの知見ー	42
11:00	(休憩) 政春尋志(国土地理院)	
	研究発表(2)	
11:10	O04 近世在方町における絵図作成とその特徴 渡邊英明(大阪大・院)	44
11:30	O05 水路図誌目録にみる6000番台海図についての図歴調査 伊藤 等(日本大)	46
11:50	O06 明治初期ジュルダンらによる『敦賀湾』ほかの地図と伊能大図など 細井将右	48
	ポスター紹介	
12:10	P01 高等学校地理学習における地図作業学習教材の開発・実践・評価 小林岳人(千葉県立沼南高柳高等学校)	50
12:13	P02 複合商業施設における分かり易い案内図表現についての基礎研究 安東美緒(千葉工業大・院)・長尾 徹(千葉工業大)	52
12:16	P03 電子地図の見やすさについての研究 佐藤史規(千葉工業大・院)・大川 泰明(千葉大・学)・長尾 徹(千葉工業大)	54
12:19	P04 インターネット検索サイトの地図利用とその評価 若林芳樹(首都大)	56
12:30	(昼休み)	
	評議員会(12:30～13:10) ポスター発表・コアタイム(13:10～13:50)	
13:50	特別講演 地理空間情報の活用推進と基本法 小牧和雄(国土地理院・院長)	
	特別セッション:地理空間情報の活用推進と基本法	
14:50	S11 地理空間情報活用推進基本法と関連する国土地理院の取組み 大木章一(国土地理院)	4
15:00	S12 基盤地図情報の整備方針について 鎌田高造(国土地理院)	6
15:20	パネルディスカッション 有川正俊(東京大), 岩見一太(ネクストパブリッシング), 大場 亨(市川市) 大木章一(国土地理院), 鎌田高造(国土地理院)	
16:30	終了	
17:30	懇親会	

※ 10:00～16:30 地図・図書展示

第3日 8月9日(土) 9:30～16:30

9:30	S11 シンポジウム(1):外邦図の集成と多面的活用ーアジア太平洋地域の地理情報の応用をめざしてー 外邦図の集成と多面的活用ーアジア太平洋地域の地理情報の応用をめざしてー 小林 茂(大阪大)	8
9:40	S12 アメリカ議会図書館所蔵の日本軍将校による1880年代の外邦測量原図 山近久美子(防衛大)・渡辺理絵(筑波大・日本学術振興会)	10
10:00	S13 日本統治期における台湾の測量と地図作製 魏徳文(南天書局, 台北)	14

10:20	S14	外邦図デジタルアーカイブの作成と公開にともなう課題 村山良之(山形大)・宮澤仁(お茶の水女子大)・関根良平(東北大)	18
10:40	S15	グーグルアースと外邦図 鳴海邦匡(甲南大)・岡本有希子(大阪大・院)・長澤良太(鳥取大)・小林茂(大阪大)	22
11:00	S16	外邦図の非軍事的活用と公開をめぐる 田村俊和(立正大)	24
11:20	総合討論 コメンテータ:村上勝彦(東京経済大), 清水靖夫, 長岡正利, 南*佑(韓国・高麗大), 石原 潤(奈良大)		
12:30	(昼休み)		
	シンポジウム(2):ALOSシンポジウム		
13:30		趣旨説明 平田更一(測量協会)	
13:40	S21	基調講演:ALOSの機能と今後の衛星観測計画 島田政信(JAXA)	28
14:10	S22	判読性向上と地形図作成 神谷 泉(国土地理院)	30
14:30	S23	国際地理標準に準拠した衛星画像検索システムの研究開発 岩男弘毅(産業技術総合研究所)	32
14:50	S24	ALOSデータの民間利用の可能性 今井靖晃(国際航業)	34
15:10	S25	衛星画像による大規模災害の把握 松岡昌志(産業技術総合研究所)	36
15:30	パネルディスカッション 平田更一(測量協会), 島田政信(JAXA), 神谷 泉(国土地理院), 岩男弘毅(産業技術総合研究所), 松岡昌志(産業技術総合研究所), 今井靖晃(国際航業)		
16:30	終了		

※ 9:30～15:00 地図・図書展示

日本地球惑星科学連合 2008 大会発表ポスターの展示 －「地球惑星科学における地図・空間表現」セッション－

日本地球惑星科学連合が毎年5月に開催する「日本地球惑星科学連合大会」(略称:連合大会)では、地理学や地図学も含む地球惑星科学の各分野の多数の研究発表が行われています。日本国際地図学会は、連合大会で新たに「地球惑星科学における地図・空間表現」というセッションを運営することにしました。第2回目となる今年度の連合大会では、同セッションで15件の研究発表がポスター形式で行われました。より多くの会員に連合大会の発表内容を知っていただけるよう、本定期大会で同じポスターを掲示することを企画しました。掲示予定のポスターは、以下の通りです。

- 黒木貴一:だいちと伊能図を用いた地図教育の実践
- 政春尋志:ガウス-クリューゲル図法 Krueger(1912)第一公式の再評価
- 筒井俊洋:地球地図・樹木被覆率データからわかること
- 小荒井衛・佐藤 浩・岩橋純子:白神山地における地生態学図作成の試み
- 長谷川裕之・小荒井衛:国土変遷アーカイブデータを利用した過去の景観の再現
- 熊木洋太:地球惑星科学における空間表現と空間構造
- 神谷 泉・長谷川裕之・荒木博志ほか:かぐやの LALT データを使用した月の地形図の作成
- 勝部圭一・土井 陽・関 洋祐:3次元景観CG作成用の土地利用テクスチャーデータの開発
- 若林芳樹・鈴木晃志郎:日本と英語圏の旅行案内書からみた東京の観光空間の可視化と解析
- 青山雅史:解析図化機を用いた日本アルプスにおける岩石氷河の詳細地形図の作成
- 松井 譲ほか:高分解能 SAR 衛星 TerraSAR-X によるヒマラヤ、クンブ地方の氷河のモニタリング
- 千葉達朗・鈴木雄介・平松孝晋:傾斜と開度と曲率を使用した地形解析
- 石川 剛・勝部圭一・目代邦康:雑誌「GIS NEXT」による日本の典型地形の表現と概説
- 岸本清行:地形・地質情報の視覚化について
- 小白井亮一・宇根 寛・長谷川裕之ほか:太平洋戦争末期の地震被害を捉えた米軍撮影の航空写真

【会場へのアクセス】

国土地理院・地図と測量の科学館（〒305-0811 茨城県つくば市北郷1）

- ・ 鉄道利用：つくばエクスプレス「研究学園駅」よりタクシーで約10分。または「つくば駅」（つくばセンター）を利用（快速は「研究学園駅」に停車しません）
- ・ バス利用：JR 東京駅（八重洲南口）から常磐高速バス「特急つくば号」で「つくばセンター」まで約70分。羽田空港より空港連絡バスで「つくばセンター」まで約100分。「つくばセンター」からは、関東鉄道バス「建築研究所」行（土日運休）または「下妻駅」行で約10分（「国土地理院」下車）。
- ・ 鉄道・バス利用：JR 常磐線「ひたち野うしく」よりバスで約30分、「荒川沖」よりバスで約40分。



(出典：国土地理院交通案内 <http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT/g-kotu.html>)

【大会参加費】

- 普通会員・特別会員団体構成員：1,000 円
- 学生会員：500 円
- 非会員：2,000 円（発表論文・資料集代を含む）
- 懇親会費：4,000 円
- ※ 地図・図書展示スペースのみの見学は無料

【施設見学事前申し込み】

8月7日の施設見学を希望する方は、7月25日（金）までに下記の学会事務局までEメールか葉書に必要事項を記入してお送り下さい。

学会事務局：〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6（財）日本地図センター内
日本国際地図学会 事務局（ホームページ <http://www.jmc.or.jp/gakkai/>）
TEL 03-3485-5410, FAX 03-3485-5593, メールアドレス gakkai@jmc.or.jp